

発見かんづま

—北から南から—

脊振神社

神功皇后の時代に（6世紀頃）脊振大神として創建され、祭神は宗像三女神を祀る。上宮（脊振山頂）と下宮（脊振町久保山田中）があり、日本六所弁才天の一社「脊振弁財天」と呼ばれ五穀豊穡、開運、財福等の御利益の祈願のため、年間を通じて九州各県はもとより全国から参拝者がある。殊に5月24日の大祭は“べんじゃあさんの春祭り”として親しまれている。又、神仏習合の名残として社殿の隣に不動明王が祀られており、毎年11月3日に、天台宗の約30名の山伏が行う火渡り神事を中心とした「採燈大護摩供」の行事は、県内外の多くの信者が集まり賑わう。



脊振神社 上宮（脊振山頂）



脊振神社 下宮（脊振町田中）

神仏習合＝神道と仏教が交じり合ったもの

編集後記

- ・読みやすいか。
- ・議会の様子が伝わっているか。
- ・喜ばれているか。

議会広報委員長を務めて早一年が過ぎ、編集委員の皆様とこの3点を常に心がけ編集作業をしています。議会だよりは、議会（議員）と市民をつなぐ大切な広報誌です。

議会だよりが毎回楽しみに待たれるよう、これからも紙面づくりに頑張ります。議会だよりのより良い紙面づくりの為に、ご意見・ご要望があればお聞かせ下さい。

《白石昌利 記》

委員	委員	委員	副委員長	委員長	広報委員
内田良治	田原和幸	福田清道	内村夏生	白石昌利	